

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

佐渡市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

新潟県佐渡市

3 地域再生計画の区域

新潟県佐渡市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、平成 16 年 3 月の合併当時からの約 7 万人から、現在では 54,656 人（平成 31 年 3 月末現在）となっており、毎年約 1,000 人ずつ人口が減少している。人口減少の内訳は、自然減が約 910 人（平成 29 年 10 月 1 日）、社会減が約 170 人（平成 29 年 10 月 1 日）となっている。

自然減の原因を分析すると、本市の合計特殊出生率（一人の女性が生涯に産む子どもの数）は、1.64（平成 29 年度）と国・県と比べて高いものの、若年層の減少により、生まれる子どもの数が減少し、高齢者が多いことから亡くなる人の数が増加傾向になっている。

社会減では、本市は高校卒業後の進学先が少ないことから、進学による転出が著しい上に、卒業後に戻る若者が少ないことによる若年層の流出が大きな要因となっている。

短期的な取組で自然減を含めた人口減少を完全に止めることは不可能であるが、若年層の流出を中心とする社会減への対策が、佐渡の人口減少対策として極めて重要である。

そのため、人口減少対策としては、佐渡の将来を担う若者を中心とする人材育成・確保に取り組んでいく必要がある。島内企業を元気にし、雇用を拡大することとあわせて、短期的な取組として、一次産業の振興と観光振興を中心とした「元気な産業と安定した雇用の創出」や「観光交流人口の拡大」を図り、若者の雇用の受皿づ

くりを進める。さらに、子育て環境を始めとする「生活しやすい環境の整備」や「人と人がつながる地域づくり」を進める。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する。
- ・基本目標 2 世界的 3 資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する。
- ・基本目標 3 生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する。
- ・基本目標 4 特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する。

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就農経営体数	16経営体/ 年	34経営体/ 年	基本目標 1
	新規起業、第二創業及び企業誘致した数	3件/年	50件/年	
イ	観光入込数	53万人	70万人	基本計画 2
	佐渡観光旅館連盟加盟旅館延べ宿泊数	364,493泊	492,000泊	
	リピート率	37.8%	55%	
	観光客一人当たり平均宿泊数	1.56泊	1.61泊	
ウ	合計特殊出生率	1.88	2.08	基本計画 3
	社会減数	▲約370人/ 年	▲185人/年	
エ	これからも佐渡市に住み続けたいと思う人の割合	72.7%	平成27年度 を上回る	基本計画 4
	自主防災組織率	88.0%	100%	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

佐渡市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する事業

イ 世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する事業

ウ 生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する事業

エ 特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する事業

② 事業の内容

ア 島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用を創出する事業

高品質な佐渡米の生産推進による農業経営の安定化、起業、第二創業や企業誘致等による若者等の雇用の促進、6次産業化を中心とした高付加価値化・販売体制の構築、産業振興のための人材育成など、様々な分野において島の資源を活かし、元気な産業と安定した雇用の創出する事業。

- ・「新規就農里親制度」等の新規就農者確保に向けた取組の充実
- ・佐渡米の品質向上（色彩選別機等機械導入補助等）や高付加価値化に関する支援
- ・「佐渡版個別所得補償制度」等による60歳未満農業者等への支援
- ・プロモーション活動やICTの利活用による販路の拡大
- ・戦略産品等の海上輸送費補助と販売促進
- ・起業、第二創業及び企業誘致の促進

- ・農商工連携と6次産業化の促進
- ・「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組 等

イ 世界的3資産を中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する事業

島の魅力発信、周遊滞在型観光の充実、観光客の受入環境の整備など、3つのプログラムを中心とした島の魅力とおもてなしの心で観光・交流を促進する事業。

- ・誘客広告宣伝の強化
- ・周遊滞在型旅行の推進
- ・ICT等を利用した外国人旅行者に向けた情報発信の整備とルート確立
- ・佐渡航路運賃の低廉化及び多様化
- ・島内二次交通の充実
- ・ハード面での受入環境の整備（トイレの洋式化、外国語表記を含む看板・案内版の整備、Wi-Fi環境の充実、駐車場の整備等）
- ・ソフト面での受入環境の整備（ガイドの養成、ICTの活用、消費税免税店の促進等） 等

ウ 生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する事業

出産や子育てしやすい環境づくりのほか、ふるさとへの愛着を持った将来の佐渡を担う子どもの育成に向けた学校教育及び就学支援の充実のほか、定住移住の促進など生活しやすい環境を整え、若者の出会いから就業までを島全体で応援する事業。

- ・独身男女の出会いの場（婚活イベント、地区公民館講座等）の創出
- ・保育料2人目無料化の拡充
- ・妊娠から出産・子育て・就労までの総合相談サポート
- ・キャリア教育の推進
- ・「豊かな心を育む教育」の推進
- ・「次世代の高校教育」に向けた連携等の取組
- ・ICTを活用した教育の推進

- ・小学校から高校までの教育費等の負担軽減方策の検討
- ・効果的なPR・情報提供
- ・「移住コンシェルジュ制度」等による誘導策の展開
- ・移住体験制度を始めとした受入態勢の整備 等

エ 特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する事業

地域の拠点づくりと活力の再生や地域包括ケアシステムの構築などによる安全・安心に暮らせる体制の整備、ソフト対策・ハード対策の両面における地域防災体制の充実と活動拠点の整備を進め、特色ある持続可能な地域をつくり、島の安全・安心を確保する事業。

- ・地域自主組織等の地域づくり活動への支援
- ・学校や地区公民館を活用した交流拠点づくり
- ・地域を見守る連携体制の構築
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・安全・安心な医療が受けられる体制（医師・看護師確保等）の整備
- ・公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進
- ・地域防災力向上に資するリーダーの育成
- ・市民や関係機関が一体となった総合防災訓練の実施 等

※ なお、詳細は佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

5,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度9月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに佐渡市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで